



東近江市民クラブ  
鳥より人が集まる駅前



Q 八日市駅前の活性化について、

A ①本年度のムクドリ対策は、  
②駅前マルシェ事業の今後の見通しは、  
③駅前の未利用地に計画している拠点施設と駅前広場を一体的に整備する事業の進捗状況は、

A ①6月中に街路樹を剪定するよう県に要請しており、状況によっては2度目の剪定も要請し、鷹匠による追い払いは必要に応じて行います。

②駅前の店舗やまちづくり公社など関係者と連携し、数日間の社会実験ができないか県と協議をしていきます。

③昨年度は民間事業者の関心度を測るための調査と測量設計業務を実施しました。本年度は官民連携支援業務を発注し、民間事業者の募集条件やリスク分担を整理し、その後、施設整備の提案を民間事業者から募集、選定し、本年度末までにパートナー協定を締結したいと考えています。



八日市駅前の未利用地

鈴木 則彦

います。なお、事業化に向けてはさらに詳細な協議が必要で、建設には複数年かかります。

Q 2024年の国民スポーツ大会に向け、カーニバル競技会場である伊庭内湖の浚渫や水草の除去を行う考えは、

A 県などと具体的な対応について継続して協議し、準備期間内に完了できるように進めたいと考えています。



東近江市民クラブ  
健康寿命延伸で元気な100歳



Q 介護予防の推進について、①元気な高齢者づくり「通いの場」と「生活支援サポーター活動事業」の進捗状況は、

A ①平成30年度の「通いの場」は18箇所、目標を達成しています。市内14地区のうち9地区できています。

また、生活支援サポーター活動事業は、8団体161人に買物や外出などの日常生活における困りごとや、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう支援していただいています。

②介護予防・生活支援サービス事業の31年3月現在の認定者数は要支援1が744人、要支援2が645人、基本チェックリストによる事業対象者数は51人です。

事業対象者の介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用実績は、訪問型サービスが177人、通所型サービスが



森田 徳治

514人です。さらに、パタカラ教室と称して実施している通所型短期集中予防サービスでは、30年度は6会場75人の利用がありました。一般介護予防事業の主体の「通いの場」を充実させ、人と人とのつながりと地域づくりを推進するため、現状を分析し、地域の実情に応じた効果的な介護予防活動につながるよう、情報収集に努め、研究してまいります。



東近江市民クラブ  
外国人の受け入れ待ったなし!!



Q 今後、増加する外国人の受け入れについて、

A ①市の方針と今後の対応は、  
②惣村の自治精神を大切にしながら今までの市政運営と外国人労働者受け入れ拡大の両立について市の見解は、

A ①出入国管理及び難民認定法の改正に伴い、外国人労働者の人口増加が予測されます。少子化による労働力不足を補うためには外国人の受け入れが必要である現状に鑑み、市内の企業訪問などを通じて現状や将来の雇用について実態把握を行うとともに、企業や経済団体などと連携し課題などを整理しながら対応していきたいと考えています。

②惣村の自治精神は、外国人労働者が増加しても、そう簡単に損なわれるものではないと考えています。少しでも短い期間でこの素晴らしい地域になじんでいただけるよう努力をしていきたいと考えています。

山本 直彦

Q 現代貨幣理論(MMT)に対する市の見解は、

A 最近になって米国や欧州そして日本でも話題になっていると認識しています。4月の参議院決算委員会でも、この理論をもとに積極的な財政出動を行うべきとの質問がありました。担当大臣などは否定的な見解を示されていました。その行方を注視していきたいと考えています。

市内 町字別外国人比率

町名	外国人人口(人)	総人口(人)	外国人比率
1 下岸本町	61	146	41.8%
2 沖野四丁目	159	794	20.0%
3 中小路町	292	1518	19.2%
4 春日町	51	307	16.6%
5 東沖野四丁目	40	242	16.5%
6 八日市緑町	115	747	15.4%

平成31年4月26日作成 住民記録 人口世帯集計表より



太陽クラブ  
空き家の残置物が活用を阻む!?



Q 家財道具が残され、不動産屋にも空き家バンクにも登録されない空き家が増えている。将来そのような空き家が大量に朽ちていき、町ごと廃れることが懸念される。

A 高齢者向けに、使わない家財を処分することの大切さや粗大ごみの捨て方を学べる講演会・研修会の場を設け、モノの処分の推進をし、予防する考えは、

A 市として個人の所有物の処分には踏み込むのは難しいですが、処分方法については出前講座を活用してもらうのも一つの方法と考えています。

Q 60歳以下でフルタイムで働く市の嘱託・臨時雇用の専門職員は年収200万円前後であるが、  
①その人数と平均勤務年数は、  
②市は長く勤めてもらいたいと考えているのか、  
③現在、幼保で50人以上の求人が出ているほか、発達支援セン



元気なうちにモノの処分を